

第8号議案

令和8年度南四国大会 クラブ員代表者会議 テーマ

〈第1分科会〉 外への働きかけに関する事（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

〈第2分科会〉 内への働きかけに関する事（クラブ員一人一人へ、農業クラブの活性化等）

〈第3分科会〉 農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関する事

分科会	テーマ
第1分科会	
第2分科会	
第3分科会	

<第1分科会>：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

北北海道連盟

- ・地域における農業高校の役割を広めるためには、農業クラブ活動でどのような取り組みをしていけばよいか。

東北北海道連盟

- ・次世代の産業人を育成するにはどのような活動が必要か。

宮城県連盟

- ・コロナ後の農業高校生同士の交流会はどうあるべきか。

秋田県連盟

- ・海外の農業高校での取組を知るにはどうしたらよいか。
- ・SNSを効果的に活用するためにはどのような方法があるか。
- ・地域と連携するためには、どのような活動があるか。
- ・課題研究等の学習活動の成果を地域の方々に周知し、広げていくにはどうすればよいか。
- ・SNSに頼ることなく、校外で連携・交流を深めていくためにはどうすればよいか。

山形県連盟

- ・農業高校が地域と連携し、共に発展していくにはどのような手立てがあるか。

福島県連盟

- ・農業高校の魅力的な活動を、地域および幅広い年代に発信するためにはどのような方法があるか。

茨城県連盟

- ・農業クラブやクラブ活動をどのように各都道府県に認知させ、世界的に起こっている農業の経済的問題（農家の収入や円安での農産物の価格高騰など）を解決するにはどのように活動していくべきか。

栃木県連盟

- ・各種発表大会を農業高校生以外にも見てもらうためにSNSやネットニュースをどのように活用すべきか。

群馬県連盟

- ・「海外交流をすすめるための手段とその際に考えられる課題は何か。」
- ・様々な農業に関する課題がある中で、後継者不足や耕作放棄が大きな問題となっています。子供たちや若い世代に農業という仕事への理解を深め、新しい交友関係を築くことなど農業クラブ員ができることを考えていきたい。
- ・各校が様々な活動をもっと外部に発信する手段は何か。

埼玉県連盟

- ・小中学校や幼稚園での食農教育

千葉県連盟

- ・国際的な農業が現在広がりを見せているが農業クラブがどのようにして国際的な関わりを作っていくべきか。（地域と海外交流）

東京都連盟

- ・地域に農業クラブの活動を知ってもらうためにはどのような活動をすればよいだろうか？
- ・農業を地域の人々と盛り上げるために、農業クラブができることは何か？
- ・近隣の学校や地域の人々に農業への理解を深めるためにはどのようなことをすればよいか。
- ・農業高校生が創る未来～地域とつながる活動の可能性～

神奈川県連盟

- ・地域の方、農家や農福連携を通して日本の農業に貢献するにはどうしたらよいか。

山梨県連盟

- ・SNS を用いた情報発信における各校の課題（情報管理について）
- ・地域連携の取り組みを通じて目指すものとは何か。
- ・海外交流における農産物の輸出、輸入への課題と解決について
- ・地域の農業や農産物を守り、伝統を受け継いでいくために、どのように地域産業と連携を図るか。

静岡県連盟

- ・地域の人達と関わりを持つためにはどういった活動をしていくべきか。

新潟県連盟

- ・農業クラブ活動について地域の方をはじめ、さらに多くの方に幅広く周知し、認識してもらい、連携の幅を広めるためにどんなことができるか。
- ・日ごろから農業クラブ活動をつうじて、地域、国内、海外と幅広く連携及び交流するために、どのような取り組みをすればよいか。
- ・農業高校の地域の応援団（一般の方、農業者、JA、民間企業、大学・学校関係など）と連携を推進していくために、どんなことができるか。
- ・効果的な情報発信の実践例（各校どんな情報発信をしているか、その中でも効果が高い事例紹介）
- ・若者の農業への関心を高めるため、魅力ある情報発信を行うにはどのような活動をしていくべきか。

長野県連盟

- ・地域、都市、観光客（インバウンド）が地元に来てもらう（人口流入を考えた）農業高校あり方。
- ・地元の農業に貢献できるために、農業高校にできることを考える。

富山県連盟

- ・地域の方々との交流を目指しながら、農業クラブの魅力を伝えるためにはどのような方法があるか。
- ・地域の食文化を守り、伝統を受け継いでいくためにはどのように地域と連携するか。
- ・地域の農産物を海外にも広く知ってもらうために、どのようにPRすればよいか。
- ・地域の方々に農業の魅力を伝えるために私たちができることは何かがあるか。

福井県連盟

- ・農業クラブの魅力や活動をどのようにして、地域の方や中学生に対してPRする方法があるのか。

愛知県連盟

- ・他校と連携してプロジェクト研究を行うことで「県」の単位で農業の発展に寄与できるような活動をするためにはどうしたらよいか。
- ・農業クラブ活動が地域の発展に貢献するためにはどのような取り組みがあるか。
- ・担い手の減少対策として農業クラブ員ができることはあるか。
- ・学校内で行っているプロジェクト活動を地域に広めていくためにどのような行動をしていくべきか。
- ・地域の小中学生を巻き込んで連携をしていくためにできることはあるか。
- ・SNS を活用してできることは何かがあるか。（実習状況の見学や特産物の周知・認知方法）

三重県連盟

- ・小中学生（保育園児や幼稚園児も含め）に対して農業や農業高校の魅力をどのように発信すればよいか。
- ・小中学生の保護者に対して農業高校の魅力を伝えるため農業クラブができることは何か。
- ・地域との連携を深めるために農業クラブでできることは何か。

滋賀県連盟

- ・校内から地域へ農業クラブ活動を知ってもらうためには何ができるか。
- ・校内外の連携はなぜ必要なのか。

大阪府連盟

- ・農業高校が地域や地元企業との連携を深めるためにどのようなことができるか。
- ・クラブ員数の減少（農業高校入学者数の減少）を食い止めるため、中学生に「農業高校へ入学したい」思えるようなアピール方法は何か。

和歌山県連盟

- ・「地域と連携」の新しいかたちには何かがあるか。

鳥取県連盟

- ・農業高校の魅力を発信する手段として SNS をどの様に活用するか。

広島県連盟

- ・農業クラブ活動の魅力を外部へ伝えるとした場合「地域連携」「海外交流」など、どのような取り組みができるか、具体的な事例を考える～農業高校生の良さ・魅力を外部に知ってもらおう～

山口県連盟

- ・地元、地域での農業の取り組みを知り、その農業の魅力を伝えるためにどのような取り組みを行っていくべきか。
- ・Society5.0 の人材育成を農業クラブ活動で実践していき、デジタル化社会で実践していけることを考え、どのようなことを実践していけるか。

徳島県連盟

- ・地域の方々に必要とされる学校をつくりには、どのような取組が必要か。
- ・SNS の効果的な活用法について
- ・地域に根ざした農業高校として、どのような役割が求められているか。また、それに答えるためにどのような活動をしていけるか。
- ・農業クラブ活動を活性化させるという長期目標を達成するために取り組むべき短期目標（一年単位）としてどのような目標が必要か。
- ・各単位クラブのクラブ員一人一人が、自分事として農業クラブの活動を捉え、活動に積極的に参加するために、情報収集及び共有のツールとして最も適した方法は何か。
- ・日々のクラブ活動の中で、定期的に新たな刺激を取り入れ、クラブ員の慣れやマンネリ化を防ぎ、モチベーションを上げるためにできる取組みにはどのようなものがあるか。

香川県連盟

- ・地域に開かれた農業高校にするためにはどうすればよいか。

愛媛県連盟

- ・海外交流（FFA、FFK 等）の活性化を図るにはどのように農業クラブ活動を展開すべきか。

福岡県連盟

- ・農業高校の魅力は何か。そしてそれをどのように地域の方に PR していくべきか。

- ・グローバルな世界になってきているが、ICT を使うなど他国の農業クラブ委員との交流ができていない。どうすれば交流できるか。
- ・海外の農業高校との交流や情報交流をするためにはどのような方法があるか。
- ・地域との連携事業において行政や企業との情報交換を充実させるためにはどのような取り組みが必要か。

佐賀県連盟

- ・農業クラブの認知度を上げるために、SNS以外のものを活用して広めるためにはどのようにすればよいか。
- ・地域の方に農業クラブや農業高校に興味を持ってもらうためには、どのような方法でどのような内容を発信していけばよいか。
- ・文化祭などで地域の方に多数ご来校いただくが、農業クラブ活動について知っていただく機会が少ない。
- ・次世代を担う子供達が農業に興味を持つためにはどのようにすればよいか。

長崎県連盟

- ・農業クラブ活動での学びを、地域に還元するためにはどのような工夫をすればよいか。
- ・農業高校の生産物や活動を校外でPRし地域農業を活性化するためには、どのような取組があるか。
- ・農業の新3K（感動・かっこいい・稼げる）を地域に広めていくために、どのようなことが農業クラブではできるか。
- ・地域の教育の場としての農業関係高校を活用し、外部との連携を強化していくため、農業クラブとしてできることや課題は何か。

熊本県連盟

- ・農業クラブと地域で取り組める農業関連のボランティアにはどんなものがあるか、また何ができるか。
- ・国際化が進んでいる中、農業に関する海外交流が減少しているが、何か取り組むことができないか。
- ・福祉と農業クラブが連携し、健康と地産地消に根差した取り組みを行いたいアイデアや現在取り組んでいることはないか。
- ・農業クラブ同士だけでなく、他の産業教育を学ぶ高校生と繋がり、社会貢献できることは何かあるか。
- ・持続可能な地域社会の構築を目指す、交流活動とはなにか。
- ・海外の農業クラブとの交流会は現状でもあるが、限られた農業クラブ役員しか参加していない状態であるため、農業クラブ員（全校生徒）が交流するためにはどのような手段が必要か。
- ・海外の方との交流を通して世界情勢について私たちが手助けするためにはどうすればよいか。
- ・農業クラブ各種競技会の知名度を上げるには、どうすればよいか。

大分県連盟

- ・地域の幼稚園や小学校、中学校との連携を通して、児童・生徒が高校の実習等に参加することで、高校生は教える学び（アウトプット）につながる。年齢層は幅広いが、どうすれば地域の人々に上手く伝え農業従事者の確保につなげられるか。

宮崎県連盟

- ・自分たちの生産、栽培、飼育、加工、製造しているものが、世間一般ではどのような取り扱いやニーズがあるのか。（しっかりとリサーチを行い、外との交流や対外的な活動に繋げるべきだと考えるため）

鹿児島県連盟

- ・SDGs など環境に配慮した農業を推進する上で、単位クラブとしてどのような活動や発信をすればよいか。

〈第2分科会〉：内への働きかけに関すること（クラブ員一人一人へ、農業クラブの活性化等）

北北海道連盟

- ・クラブ員一人ひとりが主体的な考えを持って農業クラブ活動するためには、どのような働きかけが必要か。

東北海道連盟

- ・クラブ員1人1人に関心をもってもらい、農業クラブ活動について知ってもらうためにどうすればよいか。

宮城県連盟

- ・無関心の人の心に火をつけるには、どのようにしたらよいか。

秋田県連盟

- ・クラブ員一人一人の意識が低く、農業クラブ行事への関心が低いため、積極的に活動するにはどうしたらよいか。
- ・クラブ員の意見を収集、集約するためにはどのような方法があるか。
- ・クラブ員が自校に誇りを持ち、自信をもって農業クラブ活動を行うにはどのような働きかけが必要か。

山形県連盟

- ・一人一人が農業クラブ員としての自覚を持ち、主体的に農業クラブ活動に取り組むためにはどのようにしていくべきか。

福島県連盟

- ・クラブ員としての自覚を持たせ、意欲的に参加してもらうためにはどのような活動を行うべきか。

茨城県連盟

- ・農業クラブを活性化させるために交流会や外部へのアピールなどあるが、クラブ員がどのようにして農業クラブ活動に取り組み、どのような活動を行えばよいか。

栃木県連盟

- ・農業クラブ員の意欲を向上させるためには、どのような取り組みができるか。

群馬県連盟

- ・環境調査以外で、農業クラブ員全員で取り組める活動が何か考えられないか。
- ・農業クラブ活動の実践事例を話し合い、参考にしていきたい。なかなか他行の取り組みを知る機会がないので共有していきたい。
- ・農業高校生らしいこと、興味を持てることを考えていきたい。農クダンス・アニメ・動画など

埼玉県連盟

- ・専門高校以外の学科における農業クラブ委員確保について。

千葉県連盟

- ・農業クラブ3大目標として社会性があるが、社会性を向上させるために全国のクラブ員同士どんな活動ができるか。（全国組織農業クラブの情報交換や一緒に活動するためには）

東京都連盟

- ・農業クラブの役員だけではなく、農業クラブ員全員が農業クラブ活動に対して興味を持つためにはどのようにすればよいか？

- ・クラブ員としての自覚をもち、1人1人がクラブ活動に参加してもらうにはどのような働きかけが必要か。
- ・みんなが主役！農業高校生として農業クラブをもっと面白くするには？！
- ・島しょ部の農業高校生の農業クラブ活動への参加について。

神奈川県連盟

- ・農業クラブ員一人一人がどのような意識を高め、活動を認知されるにはどのような活動があるか。

山梨県連盟

- ・クラブ員に対する農業クラブ活動の意義や取り組みに関する周知方法について。
- ・農業クラブ活動に対する生徒の意識調査について。
- ・食品ロスや地産地消を意識して、主体的に行う農業クラブ活動には、どのような活動があるか。

静岡県連盟

- ・農業クラブがこういった活動をして何を目的としているのか、クラブ員にも知ってもらうために、こういった活動をしていけばよいか。

新潟県連盟

- ・クラブ員の一人一人に自覚を持たせるために、各単位クラブの取り組みとして、どんな方法やアイデアが考えられるか。
- ・校内の農業クラブ活動を自校の生徒に幅広く知ってもらい、普段の農ク活動に積極的に参加してもらうためには、どのような働きかけが有効であると考えられるか。

長野県連盟

- ・農業から学ぶ、生き方探し。楽しいこと探し。
- ・各校の取り組みから見えてくるもの。

富山県連盟

- ・私たち農業クラブ員がもっと農業クラブ活動に興味を持つためにはどのような方法があるか。
- ・クラブ員一人一人が、農業に関しての知識をもっと深めるためにはどのような方法があるか。
- ・様々な農業高校が農業高校同士で農業に関して深く交流できる場を作るためにはどのような方法があるか。
- ・農業科以外の学科に、農業クラブでの活動を知ってもらい、農業クラブをさらに活性化させるにはどのような活動に組み込めばよいか。
- ・〇〇高校といえば「農業」といえるようにするためには、農業クラブ員はどのような活動に組み込めばよいか。

福井県連盟

- ・クラブ員一人一人が、農業クラブの活動を知り興味関心をもち、県内の農業クラブが活性化する方法はあるのか。

愛知県連盟

- ・一人一人が農業クラブ員としての自覚を持ち、農業クラブの活性化をするために、単位クラブの活動だけでなく県連単位でどのような仕掛けをすることができるか。
- ・農業クラブ活動へ主体的に取り組むためにどのような活動を行えばよいか。
- ・農業クラブ活動に興味や誇りを持ってもらうためにどのようなことができるか。
- ・クラブ員一人一人を各種大会・競技会に積極的に参加させるためには何ができるか。
- ・農業学習を通して、三大目標の各資質を高めていくためにどのような取り組みをしていくべきか。

三重県連盟

- ・農業クラブを活性化させるためには具体的にどうすればよいか。
- ・農業クラブ員としての自覚や意識を高めるために農業クラブがどのようにどうすればよいか。

滋賀県連盟

- ・農業クラブ執行部員を増やすには何ができるか。
- ・クラブ員の農業に対して意識してもらうにはどのような取り組みがあるか。

大阪府連盟

- ・どの学科のクラブ員でもプロジェクト発表や意見発表に取り組みやすくするためにどのような分野があればよいか。
- ・全国の農業クラブ員同士が考えを深めあうために、どのような方法でつながりを持つことができるか。

和歌山県連盟

- ・クラブ員、農業教員全員が一体となるために、どのような取り組みができるか。

鳥取県連盟

- ・クラブ員 1 人 1 人が自覚を持ち、意欲的に農業クラブ活動に取り組むためにはどのようにしていくべきか。

広島県連盟

- ・学校農業クラブ活動を活性化させ、一人一人がクラブ員として自覚を持ち日々の活動を行うために、学校農業クラブ執行部としてどのような活動ができるだろうか。

山口県連盟

- ・農業クラブ活動を通してSDGsにつながる活動をどのようにして実践していくか。
- ・農業クラブを活性化させるために、クラブ員一人ひとりがどのように働きかけていけばよいか。

徳島県連盟

- ・主体性を持って農業クラブに取り組み、持続可能な農業を実現し、未来を切り拓くために、今、どのような活動があるか。
- ・校内すべてのクラブ員が、農業クラブ活動について知り、積極的に様々な活動を展開するためには、どのような取組をするべきか。

香川県連盟

- ・農業クラブ員として「みどりの食料システム戦略」にどう携われるか。

福岡県連盟

- ・クラブ員一人ひとりがクラブ員の自覚を持って農業クラブ活動に取り組むためにどのような工夫が考えられるか。
- ・クラブ員の減少に伴い、農業クラブ活動が低迷してはいないか。どうすれば活性化できるか。
- ・クラブ員一人一人に農業クラブ活動について認識させ、活動の活性化を図るにはどのように働きかけたらよいか。

佐賀県連盟

- ・クラブ員一人一人が農業クラブの活性化について自主的に取り組むためにはどのような活動をすればよいか。
- ・クラブ員全員が意欲的に活動していくためには、どのような方法があるか。
- ・「農業クラブ活動」と聞くと、単位クラブの役員が学校行事の運営等を行っているという印象が強く、一般のクラブ員が「農業クラブ活動」として認識して取り組んでいる活動が少ない。

- ・クラブ員が農業クラブについて理解できていない。
- ・クラブ員全員が農業クラブ活動に積極的に参加してもらう為にはどうすればよいか。

長崎県連盟

- ・農業クラブ活動と、他教科の学習を両立するためにはどのようにすればよいか。
- ・多くの農業クラブ員を巻き込み、親睦を深められるような行事やイベントにはどのようなものがよいか。
- ・農業高校生以外にも農業クラブが行っている活動を伝えるにはどうすればよいか。

熊本県連盟

- ・タブレット端末を用いたPR活動やプロモーション活動を農業クラブで取り組むことはできないか。
- ・農業クラブ員としての意識を向上させ、行動力をつけるために、各学年の段階でどのようなことを取り組んでいけばよいか。
- ・クラブ員の学校農業クラブ活動へ積極的な参加を促すためにはどうすればよいか。
- ・他校の農業クラブと交流した内容や知った他校のことをどのようにクラブ員に伝え、農業クラブ活動を活性化させるのか。
- ・農業について興味を持った生徒が主体的に学校農業クラブ活動に参加するためにはどうすればよいか。
- ・自校HPやインスタ以外に、スマホを活用した魅力発信の方法の検討。
- ・農業クラブ員一人一人が、農業クラブ各種競技会に積極的に取り組むにはどうすればよいか。

宮崎県連盟

- ・学校内における学科ごとの日々の実習や取り組みなどを学校全体で理解するにはどうしたらよいか。
- ・農業クラブの各種競技会にクラブ員全員が主体的に取り組むためには、どのような活動があるだろうか。

鹿児島県連盟

- ・クラブ役員だけでなく、クラブ委員が活動を理解し盛りあげる活動にはどのようなものがあるか。

〈第3分科会〉：農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関すること

北海道連盟

- ・農業経営者の高齢化が進む中、若い人たちが農業に目を向け携わるようにするには、農業クラブ員としてどのような取り組みをしていけばよいか。

東北連盟

- ・農業に関わる機会が減少したことによる担い手不足をどのように解決するか。

宮城県連盟

- ・福祉支援を必要とする人が行える農業にはどのようなものがあるか。

秋田県連盟

- ・農業クラブがSDGsの活動に積極的に関係していくにはどうしたらよいか。
- ・食料自給率が低下しているが、これをさらに向上させるにはどうしたらよいか。（昆虫飼料や昆虫食の観点から。）
- ・多くの人に農業に興味をもってもらうためにはどのような活動が必要か。

山形県連盟

- ・農業や関連する産業に従事する人を増やすために、クラブ員が出来ること、農業高校として果たす役割には何かがあるか。

福島県連盟

- ・持続可能な農業の実現を目指す農業クラブ活動にはどのような方法があるか。

茨城県連盟

- ・鳥獣害問題やフードロスなど農業には様々な問題があるが、それらを解決するためにどのような活動があるか。また、解決に向けて農業クラブはどのように様々な機関と協力していくべきか。

栃木県連盟

- ・農業高校生を増やすためにはどのような取り組みが必要か。
- ・クラブ員数が減少する中、どのように組織を維持していくべきか。

群馬県連盟

- ・インターネットを活用した農産物販売には、どのような未来が見込めるか。
- ・農業の新しいイノベーションについて話し合いたい。斬新なアイデアが農業クラブ員で考えることはとても重要だと考えます。

埼玉県連盟

- ・SNSで日本全国、海外の農業クラブと交流する。

千葉県連盟

- ・現在、農家の所得が低く離農者が増えている問題がある。そこで、農業クラブが、農家の所得向上を目指すためにどのように地域の農業者たちと関わっていくべきか。（小規模農家の所得向上には）

東京都連盟

- ・農業の魅力を地域の人に知ってもらうためにはどのような方法があるか？
- ・気候変動についてわたしたちができること。
- ・人手不足の深刻化、気象変化が激しい現代において安定的な生産を行うためには高校生としてどのような活動ができるのか。

- 農業高校生と農家の連携について。

神奈川県連盟

- 現代社会の影響を受けて農業をすることが困難になっている状況をどう対策していくか。

山梨県連盟

- スマート農業の導入に関する課題について。
- 農業高校として目指す未来と農業クラブ活動の取り組みについて。
- 農業で後継者不足の中、どうやって若い世代に農業の重要性や魅力を伝えるか。

静岡県連盟

- フードロスなど農業には様々な問題があるが、それらを解決するためにはどういった活動をしていけばよいか。

新潟県連盟

- 将来の日本農業の発展、維持のために、どんなことが課題で、何をどのようにして解決していけばよいか。
- 将来、農業（関連就職などを含む）に取り組むために、日ごろからどんなことを考え、どんな魅力を誰に発信していけばよいか。
- 持続可能な農業の実現に向け、農業クラブでどのような働きかけや活動をしていくべきか。

長野県連盟

- 日本の農業（高校）だからできる事。（あるもの探し、ないもの探し）
- 地元の農産物をPRするために、各県（他地区）の農業クラブ員との連携でできる事。

富山県連盟

- 減少傾向にある農業就業者を増やすために、私たちクラブ員はどのような農業の普及活動ができるか。
- 日本の農業の現状を知ってもらうためにSNSをどのように活用していくか。
- 少子高齢化が進む中、どのように農業の後継者を増やしていくことができるのか。

福井県連盟

- 将来の農業を背負う次世代の若い人にスマート農業やSDGsに興味関心をもってもらうためには、どのような取組をしたらよいか。

愛知県連盟

- 異常気象などの対応をするために農業だけでなく、普通科・他の専門科と協力して取り組むためにどのような活動をしていけばよいか。
- 農業クラブ活動を通し、持続可能な農業を実現するためにどのような活動ができるか。
- 農業の担い手減少による生産技術の後代への継承をどうしていけばよいか。
- 人を作る農業の取り組みについてどのような活動ができるか。
- 少子化が進む社会で次世代の農業を担う若者に関心を持ってもらうためにクラブ員ができることは何かあるか。
- 農業高校ができる農福連携への積極的な取り組みについて、どのような活動ができるか。
- 担い手の高齢化が進む中で、農業クラブ員にはどのような活動ができるか。

三重県連盟

- SDGs達成に向けて農業クラブ活動として取り組めることにはどのようなものがあるか。
- 農業従事者を増やすために農業クラブで取り組めることは何か。

滋賀県連盟

- ・農業者を増やすには、何ができるか。
- ・小学生、中学生、高校生に農業のことに興味をもってもらうには何を取り組むか。

大阪府連盟

- ・将来、農業従事者になりたいと思えるような取り組みには何があるか。
- ・都市部でも、地方でも、同じように農業を活性化させるために必要なことは何だろうか。

和歌山県連盟

- ・令和の農業高校の魅力は何か。

鳥取県連盟

- ・SDGSの目標を達成するために農業クラブ活動の知識を用いてどのような活動ができるか。

広島県連盟

- ・農業クラブ員が一丸となり、明日の日本の農業を守っていくとしたら、どのような取組が各連盟・学校で行うことができるか。
- ・農業を守る＝日本の未来を守る～私達は活動を通して何ができるだろうか～

山口県連盟

- ・持続可能な農業を実現するために、どのような農業クラブ活動を実践することが出来るか。
- ・耕作放棄地や限界集落地など高齢化に対応した農業クラブ活動としてどのようなことを実践すべきか。

徳島県連盟

- ・スマート農業（ICT やロボット技術）を活用していくために、どのような活動をしていくべきか。
- ・多くの若者が農業分野で活躍したいと考えるためには、どのような活動をしていくべきか。
- ・農業高校の生徒として考える「農業の魅力」とは何か。また、それを小中学生に伝えるためにどのような活動をしていくべきか。
- ・持続可能な農業（サステイナブル・アグリカルチャー）に向けて、高校生ができる取り組みを探る。
- ・農業クラブの活動を通じて環境問題にどうアプローチするか。
- ・SDGs と農業クラブ活動をつなげる方法を考える。
- ・若者が憧れる農業をつくるために、農業クラブが発信する農業の魅力の効果的な方法とは。
- ・環境に配慮した農業を実践するクラブ活動のアイデアは？
- ・「地元農業（産業）を支える仕事」としての進路を考える。
- ・地域の特産品や伝統的な農業を守るために、農業クラブがどのような役割を果たせるか。

香川県連盟

- ・農業DXを促進させるためにどのような活動ができるか。

福岡県連盟

- ・小中学生に農業に興味を持って農業高校に入学したいと思ってもらうためにクラブ員としてできることは何か。
- ・農家の高齢化、後継者不足、少子化により耕作放棄地の問題があるが、農業クラブ員として取り組む方法はないのか。
- ・温暖化による異常気象に対応した農業経営に取り組むうえで、農業クラブとして取り組めることは何か。

佐賀県連盟

- ・スマート農業を広めていくために、コスト面や機器の使用方法が難しいなどの課題を解決するためにはどうすればよいか。
- ・農業の未来のために、農業クラブ員ができることはなにか。

- 農業の担い手が不足しているという現状に対して、農業クラブとしてできることが想像できない。
- 農業クラブ員や就農者を増やすためにはどうすればいいか。

長崎県連盟

- 安全・安心な食料の安定供給のために次世代を担う若者たちに出来ることは何か。
- 将来、農業に関わる人を増やすために農業クラブ員にできることは何か。
- 就農者を増やすために農業クラブ員ができることは何か。

熊本県連盟

- 担い手の育成や小学生や中学生に農業に関心を持ってもらうためにどのような活動ができるか。
- 環境、社会情勢の変化に対応するために今後必要となることはなにか。
- 本校周辺地域では、海外の半導体製造工場の建設に伴い、農地が急速に縮小され、農業従事者が農業から離れていく現状にある。周辺地域をはじめとする本県は農業を基幹産業としているが、農業のあり方が大きな問題となっている。また、物価高騰のあおりを受け、国内の生産物にも大きな影響をもたらしており、農業従事者はさらに減少傾向となっている。このような状況下で農業クラブ活動がどのように関われば日本の農業は明るい兆しを見いだすことができるか。
- スマート農業を農業高校生から全国へ広げるためにはどのような手段をとるべきか。
- 地球温暖化などが進行する現代で、これからの農業がその環境に適応するにはどのような策を講じるべきか。
- 物価高に伴い、各産業にさまざまな支障が出ているが、今後危機を乗り越えるにはどうすればいいか。

宮崎県連盟

- 自分達が必要としていないものが意外な所で需要を求めている場合は、どんなものが挙げられるか。
- 肥料や飼料の高騰について、これらの農業の問題を解決するために、今農業クラブ員として活動できることは、どんなことがあるか。

鹿児島県連盟

- 農業従事者の高齢化と、若者の農業従事者の減少を理解した上で、若者(高校生)ができることは何か。
- 日本の農業全般を豊かにするためにはどのような活動をしていくことが必要か。